

## 1. はじめに

私の名前は水野貴博です。工学部の情報通信工学科（電子情報通信工学科）を専攻しています。9月から留学生としてローズハルマン工科大学に2月までの約5か月間留学します。

私はインディアナ州にあるローズハルマン工科大学に交換留学生として留学する前に、ニューヨーク州にあるロチェスター工科大学で6月から約2か月間英語学校に通っていました。そこでの生活と授業を簡単にご紹介します。授業のレベルは6段階あり、はじめに自分の英語の能力を測るためにテストを行い、どのレベルが自分に適正なのか決めます。すべての学生がwriting & reading と analysis と speaking & listening の3つの科目について学びます。writing & reading は主にエッセイの書き方について、analysis は主に文法について、speaking & listening は主にプレゼンテーション等を学びます。月曜日から金曜日まで午前9時から午後3時まで授業がありますが、あっという間に終わりました。次に、生活についてお話しします。私は2人部屋に住んでいました。ルームメイトはアメリカ人で、夏休み期間中ということもあり、寮やカフェテリア等混雑していることはなかったです。

この英語学校を通じて、自分のリスニング、スピーキング、ライティングが少し向上したと実感しています。有意義な2か月間であったと思います。

## 2. ローズハルマン工科大学 (RHIT)

### 2.1 ローズハルマン工科大学での生活

8月下旬から、ローズハルマン工科大学の留学生としての生活がスタートしました。ここで、簡単ですが、ローズハルマン工科大学について紹介します。ローズハルマン工科大学は、インディアナ州のテレホートにあります。池や動物たちが身近に見ることができる等、自然にあふれたキャンパスです。また、建物の中や寮の中に勉強できるスペースがたくさんあり、勉学に励みやすい環境にあります。以下はローズハルマン工科大学の建物や寮の写真になります。上側の写真の建物は” Hulman Memorial Union” という建物で、カフェテリアや教科書を売っているお店やオフィスがあります。下側の写真は、私が住んでいる寮の部屋です。私は2人部屋に住んでいます。



図1 キャンパス内の風景



図2 今住んでいる部屋の様子

## 2.2 ローザハルマン工科大学での講義

私はこの秋学期に 3 つの科目を選択しました。それらは、” College English” と” Circuits and Systems” と” Electronic Device Modeling” の3つです。

### • College English

” College English” は、英語を第一母国語としない人たちのための科目です。学生たちと関わる中で、まだまだ英語を学ぶ必要性を痛感したので、この科目を選択しました。この科目では、基本的に宿題が出されたものの答え合わせやクイズが中心になります。生徒たちの発言で講義が進んでいくという形なので、思ったことを英語で表現していますが、周りの学生に比べると回数が少ないので、もっと発言していかなければならないと感じています。難しいと感じたところは、リスニングです。今までのリスニングの課題に比べて、聞き取る時間が2から3倍長いので、なかなか出来ず苦戦しています。

### • Circuits and System

”Circuits and System” は、電気回路から電流や電圧がどのように変化していくのか計算から考えていく科目です。すべてが分かるというわけではありませんが、ところどころ今まで習ってきたことが関わっているので、着いていくことにやっとなりますが、理解しながら次に進むことができます。また、1週間のうち1日は” lab” という1週間習ってきたことを実験という形で再確認し、理解を深めていきます。苦戦していることは、1週間に1つある課題と lab です。課題は、すべてが応用問題で終わらせるためにかなりの時間を必要とします。Lab は、説明を読み取ることから始めるため、周りよりも時間がかかってしまいます。また、使ったことがない計算ソフトを使用しているので、慣れるまで時間がかかります。一人ではなかなか出来ないなので、質問しながら前に進んでいます。

### • Electronic Device Modeling

”Electronic Device Modeling” は、金沢工業大学の科目の中でたとえると、物性工学に近いような科目を習っています。今までやってきたことがあるため、テキストを見ることで着いていくことができるが、プロフェッサーの言葉を理解することに苦戦しています。またこの科目も、1週間のうち1日は” lab” という1週間習ってきたことを実験という形で再確認し、理解を深めていきます。この科目は、二人1組で実験を行っていくので、分からないことを聞くことはできるが、相手に負担をかけ

過ぎないように、積極的に取り組んでいます。一番難しいのは、専門的な用語を英語で表現しようとしたときに、どう表現したらよいか分からないことです。

どの科目も講義内容についていくことに精一杯であり、ぎりぎりのところで進んでいると思っています。しかし、とても充実した日々になっています。ただ、まだまだ自分から英語で発言できるようにならなくてはならないと感じています。

### 3. おわりに

毎日が速く過ぎていく感覚はありますが、毎日が充実した日々になっています。気付けばもう1か月が経ったというのが、本音です。これから先、何事にもチャレンジと積極的に動くことを目標として、取り組んでいきたいと思えます。

以上で9月分の月例報告を終わります。